

## 消防の在り方に関して



### 現在の課題

現在、大垣市の消防体制は、大垣市・神戸町・池田町・安八町・輪之内町の1市4町から構成されている「大垣消防組合」です。少子高齢化が進む時代と共に、消防の組織や運営の在り方が、問われています。

現在の課題は、①消防組合のために、決断がいちいち各市長、町長にもらわないと進まないため、非常時の対応や、事業の運営が遅れること ②大垣市内のマンション建設の増加に伴い、高層階の火事に対応するにはご車の配置が市役所東の分駐所に配置されていないこと ③市役所東の分駐所は、耐震率:0.33(標準は0.6以上)で非常に危ないこと。建て替え計画で、市役所東の分駐所を消防署に格上げし、早期に建設し、警員の増員とはしご車を常駐させること ④出初式などのイベントは、各市町の負担(費用・スタッフ)とし、消防組合から、予算やイベント用の人員を出さない。⑤消防組合は、「相互応援協定」を結んでも、2Km以上先は出動できない。また、出動できても1~2台しか出動できない。

## My Opinion 「組合消防」から「地域消防」への改革

令和5年3月20日 総務環境委員会 発言のポイント

令和4年4月29日に、養老町有尾の「西南濃粗大廃棄物処理センター」が工場・倉庫火災が発生し、午前4時12分の通報から午前9時30分沈火。最終消火午前11時頃迄、6時間余りの消火活動が行われました。

消防車は養老署3台津波署1台の計4台でした。大垣消防組合は、「相互応援協定」を結んでいながら、2Km以内という制約で出動依頼もなく、出動しませんでした。

本来は、工場火災は10台以上の消防車が駆けつけ、いち早く消火するべきです。また、「西南濃粗大廃棄物センター」は、大垣市が最大の予算とスタッフを出している、ごみ行政の拠点です。大垣消防組合の消防車が出動しないという不可解な火災事件です。

「西南濃粗大廃棄物組合」(大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・安八町・輪之内町)は、新たに、4600万円かけて令和5年3月に新倉庫を建設しました。大垣消防組合の大垣市・神戸町・安八町・輪之内町は、西南濃粗大廃棄物組合の主要メンバーであり、どちらの組合にも多額の拠出金を出していませんが、消防車が出せなかったという事実があります。

そして、建設費用だけは、支出しなければならないという「理不尽な現実」があります。上記の課題からも、私は大垣消防組合を組織・人員・予算等の見直しを含む「組合消防」から「地域消防」にする改革を提案致します。



## 上石津給食センターの廃止に関して

令和5年3月22日本会議反討論より

学校給食には、センター方式と自校方式のメリット・デメリットがあります。デメリットとして、センター方式では食中毒による被害は大きなものとなります。自校方式は、人件費などのコストがセンター方式より多くなります。

今例の上石津学校給食センターはセンター方式と自校方式ではなく、「小規模センター方式」と考えます。ある程度の維持管理経費は、押さえられています。また、食材の「地産地消の観点」からも「地元の雇用の確保、働き場所の確保」の点からも時期尚早ではないですか? また、「地元関係者の声や働く人達の意見を十分にきかずに決定する」見切り発車ではありませんか?

今後、学校給食はベーシックサービスの観点から全国の保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校の学校給食費は完全無償化が時代の潮流となり、無償化が日程に登って来ています。既に、青森市や東京都の各区や揖斐川町、池田町では、幼・保・小・中学生の完全無償化を実施済、実施予定です。近い将来、「学校給食」は無償化が日程にのぼっていき、市の負担が減るのではないのでしょうか? また、学校給食には、

「食育」という教育の観点が必要で、

大センター方式は、栄養教諭と学校との連携が取りにくくなります。さらに、大センター方式では、大規模食中毒のリスクがあります。ハザップ方式を取り入れていると言え、大センター方式は大規模食中毒のリスクは大きいと言えます。かつてノロウイルスが全国で大流行した時に、急ぎ、給食センターの1拠点化を見直し、「南部の給食センター」と「北部給食センター」の2拠点にしました。災害対策の観点からも、「上石津給食センター」を存続し、3拠点化を進めることを提議し、上石津給食センターの廃止に反対します。

### 大垣市学校給食センター設置条例の一部改正(上石津給食センターの廃止)についての賛否

	大垣市議会自由民主党議員会	市議会公明党	自民クラブ	民主クラブ	日本共産党	市民ネットワーク
林 新一(大垣)	○	○	○	○	○	○
長瀬 正	○	○	○	○	○	○
石川 孝一	○	○	○	○	○	○
田中 幸典	○	○	○	○	○	○
関 和郎	○	○	○	○	○	○
空 英明	○	○	○	○	○	○
橋田 昌亮	○	○	○	○	○	○
中野あゆみ	○	○	○	○	○	○
川上 孝浩	○	○	○	○	○	○
若井 哲一	○	○	○	○	○	○
岩本 敏美	○	○	○	○	○	○
北野たけし	○	○	○	○	○	○
齊川 新吾	○	○	○	○	○	○
丸山 新吾	○	○	○	○	○	○
はなびり多美	○	○	○	○	○	○
中田しずや	○	○	○	○	○	○
岡田まさあき	○	○	○	○	○	○

## 赤鉛筆 が しんしょうたん 臥薪嘗胆

次なるステージへのステップアップのため 労苦を惜しまず挑戦し続けます!!



積み重ねてきた30年間の市議会議員としての知見と経験を糧に、ぶち当たってきた県政の壁(教育・福祉・etc)を打ち破り「県政をより身近なもの」にするため、「県政の改革の旗」を掲げて、チャレンジしました。しかし、投票総数は9226票で、251票差の次点でした。

今後は精進を重ね、更に地方政治を研鑽し「市民の幸福」のために、頑張る所存です。何卒、引き続きのご指導・ご支援をお願いします。

### ◆臥薪嘗胆とは...

将来の成功を期して苦勞に耐えること。薪の上に寝て苦い水をなめる態から「臥」はふし寝る意、「薪」は薪のこと、「嘗」はなめること。敗戦からのリベンジのため、劣勢を自陣に課して苦勞を盡くすることを意味します。